

リーディングDXスクール事業【実践事例】

米子市立車尾小学校（鳥取県）

【取組内容④】 校務の徹底的な効率化

- ・二次元コードを用いた欠席・遅刻連絡、参観日等感想アンケート、週案のデジタル化
- ・資料や教材等の教師間での共有

① 二次元コードを用いた欠席・遅刻連絡、参観日等感想アンケート、週案のデジタル化

欠席連絡



保護者アンケート



参観日や学校行事等のアンケートもフォームで実施し、アンケート結果は、大型テレビで共有した。

週案



欠席連絡・週案は、スプレッドシートで作成し、職員室のテレビ画面で常時提示している。

② 資料や教材等の教師間での共有



クラスルームに掲載するだけでなく、分からないことや新しい情報は、職員室で声をかけ合った。



クラスルームに、情報提供やお役立ち情報をアップし合った。

スプレッドシート、フォーム、Chat、クラスルーム

チャットで作った教材や授業の様子を情報共有した。



各自が作成した手順を添付することで、それぞれが自分のクラスルームですぐに活用することができた。

